

プロバスケットボールチーム

『岩手ビッグブルズ』

始動!

そのビジネスの可能性を探る

今季、日本プロバスケットボールリーグ「bjリーグ」に新規参入した『岩手ビッグブルズ』。昨年12月に設立した(株)岩手スポーツプロモーションが運営する、岩手初のプロバスケットボールチームです。シーズン開幕から約2カ月。地域に根ざすプロスポーツビジネスの意義や今後への期待について、木戸雅之社長に伺いました。



ゲームは一つのエンターテイメント。ホームゲームは県内全域で開催しており、都市部だけでなく県内各地で観戦できます。

©IWATE BIGBULLS/bj-league



常に全力でプレイを見せる！それがプロスポーツ

『岩手ビッグブルズ』。1500を超える公募で選ばれた名前には岩手らしい由来が込められています。「ビッグ」は、本州最大の広さを誇る岩手の雄大さや県民のおおらかさを象徴し、「ブルズ」は岩手が畜産王国であることや力強くたくましい生命力を表します。

『岩手ビッグブルズ』が所属する日本プロバスケットボールリーグ（通称「bjリーグ」）は、2005年に発足したプロリーグです。わずか6チームから始まった同リーグは、今季参入の4チームを加えて19チームに増え、レギュラーシーズンも10月にスタートし、全国各地で

熱いゲームが繰り広げられています。

「bjリーグは、日本初の完全プロチームリーグです。チームの運営はチケット売上やスポンサー協賛が運営資金の約8割を占めており、お客様が購入したチケット代が、チームや自分たちの収入源となるわけですから、選手にも自ずとファンを大事にする姿勢が生まれます。選手がすべき仕事は全力で最高のプレイを見せること。その使命感は、選手自身の技術向上にも繋がります」。

木戸社長は、個々の選手にはプロゆえの覚悟が必要であると力を込めます。

バスケットの裾野が広い岩手県の可能性

実は、岩手におけるバスケットボールの競技人口はサッカーより多いとのこと。それについて木戸社長はこう話します。「地元の人たちは、バスケットがさほど盛んだと感じていないようです。しかし調査したところ、能代高校が強い秋田県と、競技人口の実数はほとんど変わりませんし、強いチームもたくさんある。小学生から高校生まで裾野も広く、地元でプロチームを育てビジネス展開していくうえでプラスになります。そして岩手の場合、チケットを購入して試合観戦する人も多い。ある程度の子算が必要な旅行などに比べると、スポーツ観戦は身近な娯楽の一つです。都市部に限らず、県内どこでも、幅広い層が楽しめるんです。プロバスケットは県民の皆さんに広く浸透し、ビジネスとして展開できる可能性が十分にあります」。



「まだまだ試合の白星は少ないですが、徐々にチームのまとまりができてきました」と木戸社長。その過程を見守るのも地元ブラスター(ファン)の楽しみかもしれません。

では、その経済効果はどれほどなのか？bjリーグ所属の沖繩チームが成功モデルとして取り上げられるそうですが、沖繩の地元銀行の調査によれば、立ち上げ初年度で78億、優勝した次年度で16億の経済効果が報告されています。

「経済効果の計算は一言で言えません。数値面だけなら企業誘致をしたほうが効果は大きいでしょう。しかし、他県の

住民意識調査を見ると何より期待できるのが郷土愛の醸成。なでしこジャパンの例を見ればわかる通り、サッカーファンでなくとも、皆で一緒に応援して時間と話題を共有することで各々に所属意識が生まれます。加えてヒーローが地元で暮らす選手たちなら郷土の誇りはさらに大きくなる。東京に漠然とした憧れを抱き、岩手を離れる若者も多いようですが、郷土への誇りや愛着は地元への人材定着にも結びつきますし、プロバスケットボールがそのきっかけになるなら、存在意義は大きいといえます」。

幅広く楽しめるレジャーであること

バスケットボールを知らない人も十分に楽しく観戦できる、それも同社の目指すことの一つです。ゲームを盛り上げるチャダンスはもちろん、選手入場時の音響や照明、会場DJの選手紹介など、ま



木戸社長自身、学生時代はバスケットボール競技に親しんだそう。「岩手の活性化のため」とチーム創設に尽力した同社社長の思いに賛同し、岩手へとやってきました。



スポーツ観戦はシニア世代も楽しめる気軽なレジャー。プロスポーツの醍醐味である観戦中の飲食も可能です。

るでライブ感覚のような演出は、プロバスケットなら当然のパフォーマンス。各チームの地域性あふれる演出も見ごたえ十分です。同社では、さらに地域とのコラボを進めていきたいと考えますが、他県の試合も多いbjリーグは、岩手全体をアピールできる新たな広報の場になる

かもしれません。また、子ども達に観戦を純粋に楽しんでもらいたいとの思いから、同社では子どもの無料招待などを行っています。迫力あるプロバスケットボールの試合を間近で見ると時間の積み重ねが、一つの文化として子ども達の間にも蓄積される。それは、未来への価値ある先行投資でもあるのです。

岩手から世界へ直結するグローバルなビジネス

地域におけるプロスポーツチームの存在は、数々の専門分野の人材を岩手に呼び寄せ、フリーのスポーツコンサルタントでありbjリーグ発足の折、大阪のチーム設立と運営に2年間携わった実績を持つ木戸社長自身もその一人。チームが動き出した後は、チームを率いるヘッドコーチを始め、プロスポーツトレーナー、専門の通訳者など多彩な人材が岩手に集まりつつあるのです。NBAへの道が岩手からダイレクトにつながる可能性も少なくありません。

木戸社長は話します。

「まずは、一度試合を見てほしい」と。ゲームを通じて地域を様々な側面から盛りあげ、各産業とのコラボレーションが期待できるプロバスケットボールビジネス。この秋、勢い溢れるスタートを切った『岩手ビッグブルズ』をより意義深いスポーツとして継続させていく原動力は、地域一人ひとりの後押しに他ならないのです。

ビッグブルズを応援しよう!

会員限定 チケットプレゼントのお知らせ

bjリーグ・岩手ビッグブルズ公式戦のチケット引換券をペア50組100名様にプレゼントいたします。

詳しい応募方法は16pインフォメーションのコーナーをごらん下さい。
提供：(株)岩手スポーツプロモーション